

***旧図書館の棚にあった乾板の雑BOX-19の乾板について**

国立天文台天文情報センター・アーカイブ室では国立天文台の旧図書館に残された写真乾板の整理を行っている。旧図書館の写真乾板についてはS氏を中心に進めている。旧図書館には天体写真乾板以外の雑多な乾板などが保管されていることが判明した。S氏は天体写真乾板の整理を担当し、その他雑多な乾板については筆者が引き受け、整理し、リストを作成すると同時に画像データとしてデジタル化する作業を行っている。この作業について順次報告して行くが、今回は雑BOX-19と名付けた箱に入っていた写真9点(写真1)の紹介である。これらの多くは広瀬元台長の写真の他、何かの本の複写のようである。



写真1 雑BOX-19に入っていた9枚の乾板

写真2は若き元台長（第7代）広瀬秀雄博士である。



写真2 若き広瀬元台長

写真3はパロマー天文台の200吋望遠鏡である。

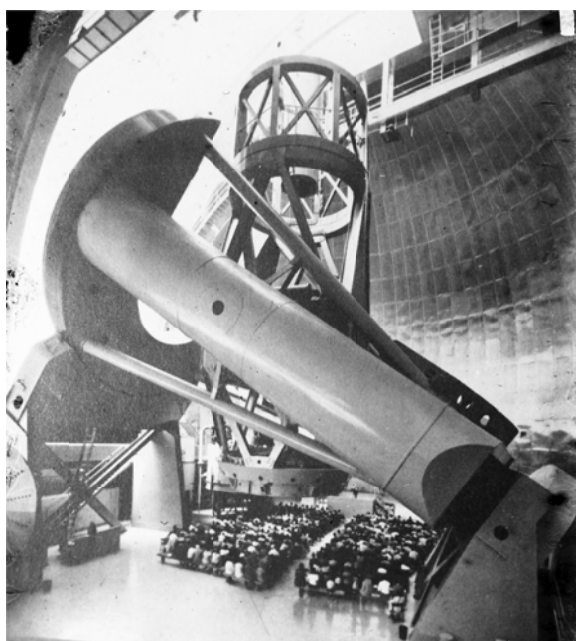


写真3 200インチ望遠鏡完成式典？

これらの写真を見ると、写真4～写真6はレイトレース（光線追跡）の論文のコピーであり、写真7、写真8は掩蔽観測の説明、チャートである。

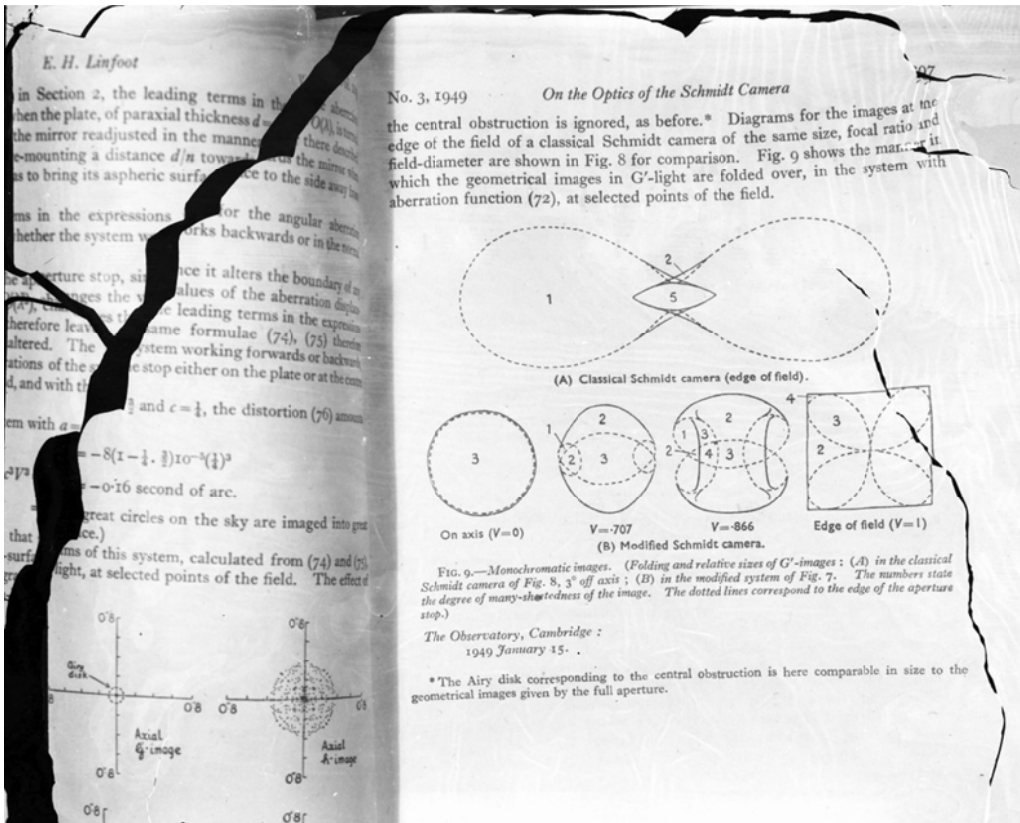


写真 3

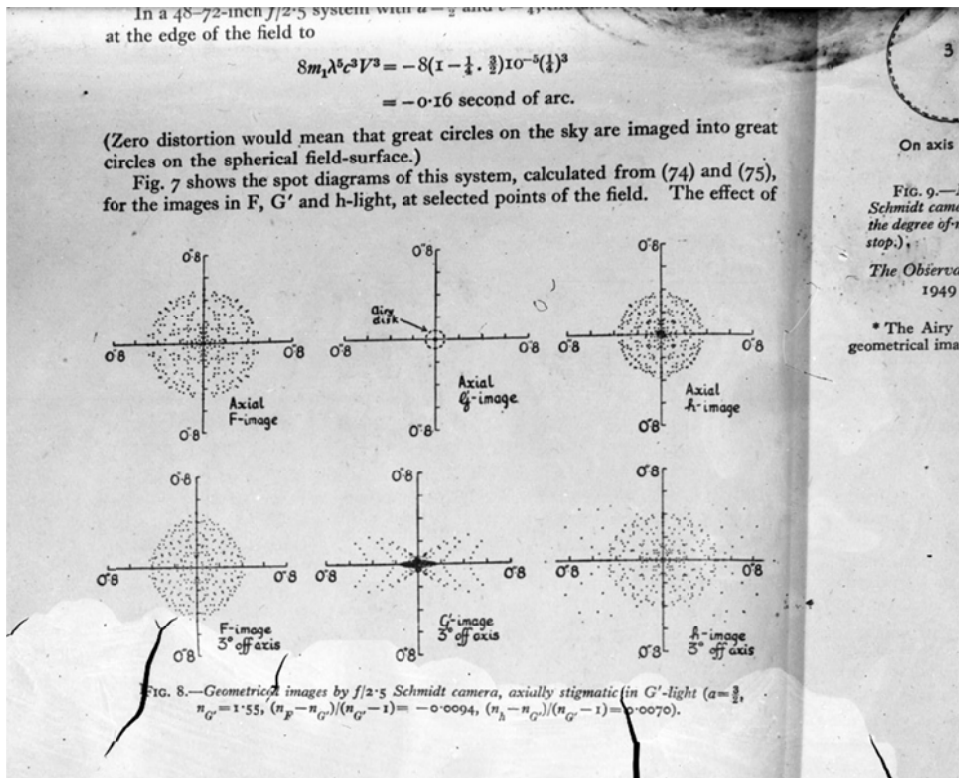


写真 4

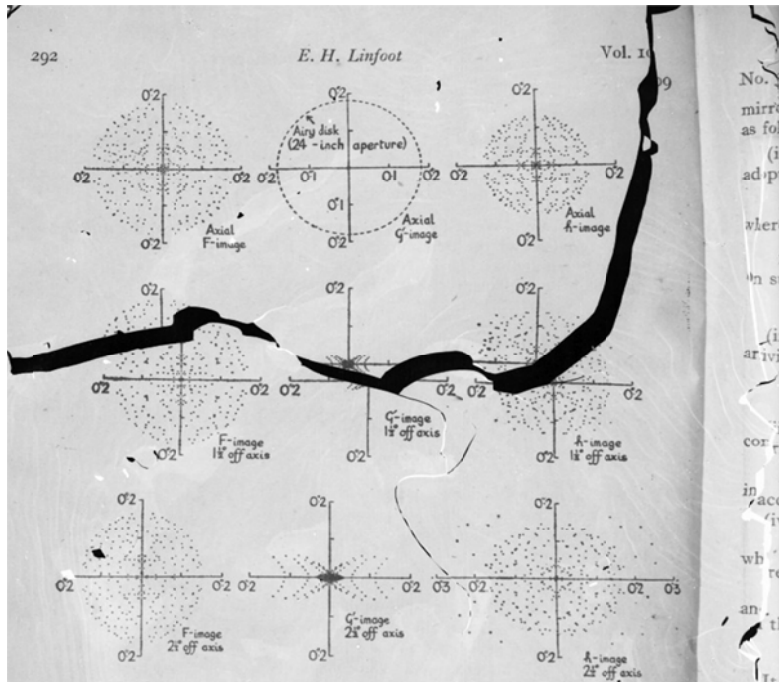


FIG. 6.—Geometrical images by f/3.5 Schmidt camera (axially stigmatic in G' light ; $a = \frac{1}{2}$, $n_G = 1.55$, $(n_p - n_G)/(n_G - 1) = -0.0094$, $(n_h - n_G)/(n_G - 1) = 0.0070$).

on the surface of the spherical mirror * and a figuring

$$\frac{1}{n-1} \{ (\lambda^4 + m_s \lambda^6) (r^4 - ar^2) + \frac{1}{n-1} \} \lambda^6 \theta^8 \quad (59)$$

on the aspheric surface of the plate.† We also move the plate towards the mirror to a distance $m_s \lambda^2$ behind the aperture stop. Lastly we change slightly the adopted field curvature, so as to add a term

写真 5

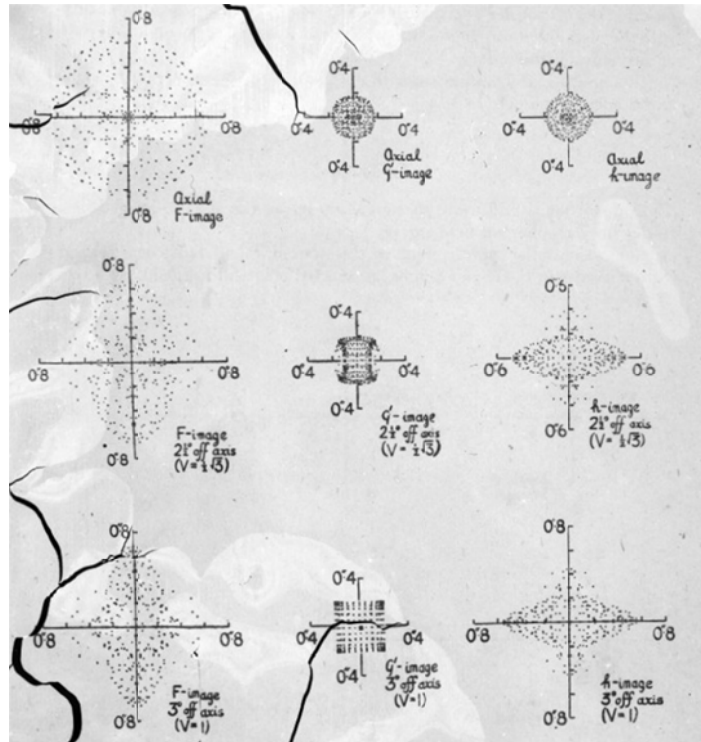


写真 6

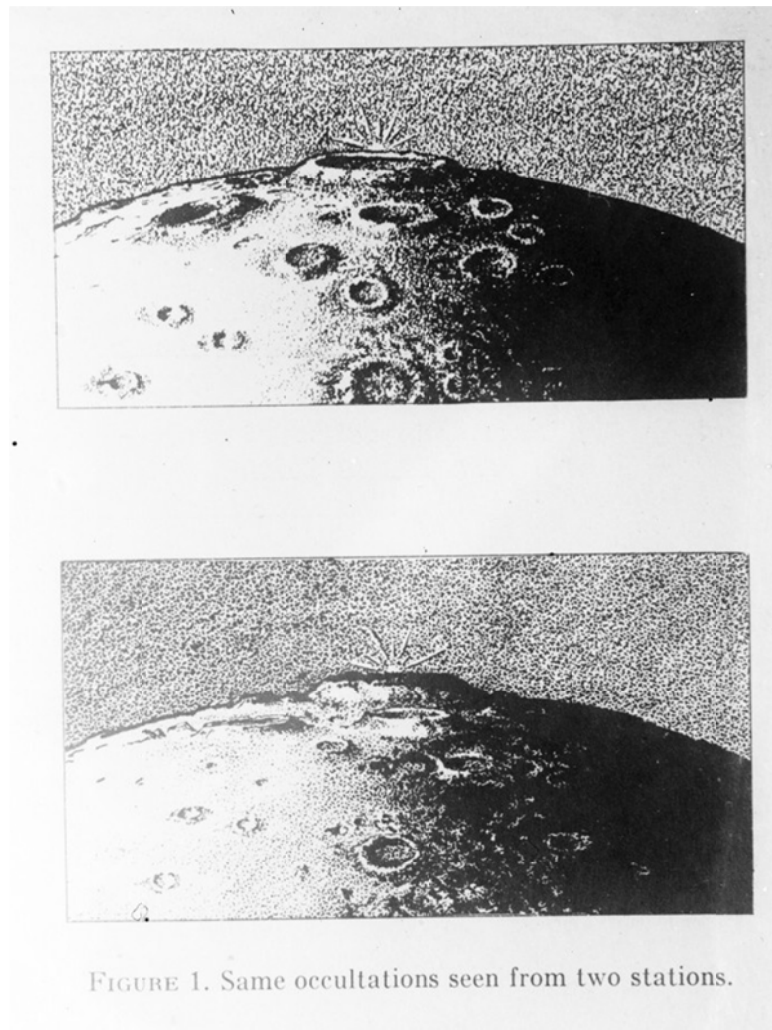


FIGURE 1. Same occultations seen from two stations.

写真7

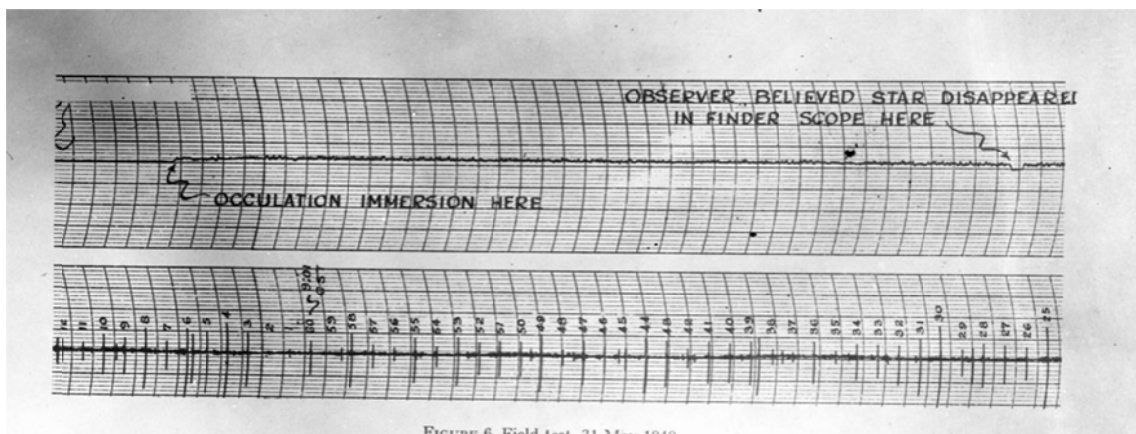


Figure 6. Field test 31 May 1960

写真8 掩蔽観測のチャート

写真9は増幅器の回路図である。これらのことからこの箱の写真は広瀬博士の研究史料と思われる。これらの写真のほとんどは膜面がはがれており、よくぞここまでデジタルデータとして読むことが出来、プリントできたと思っている。

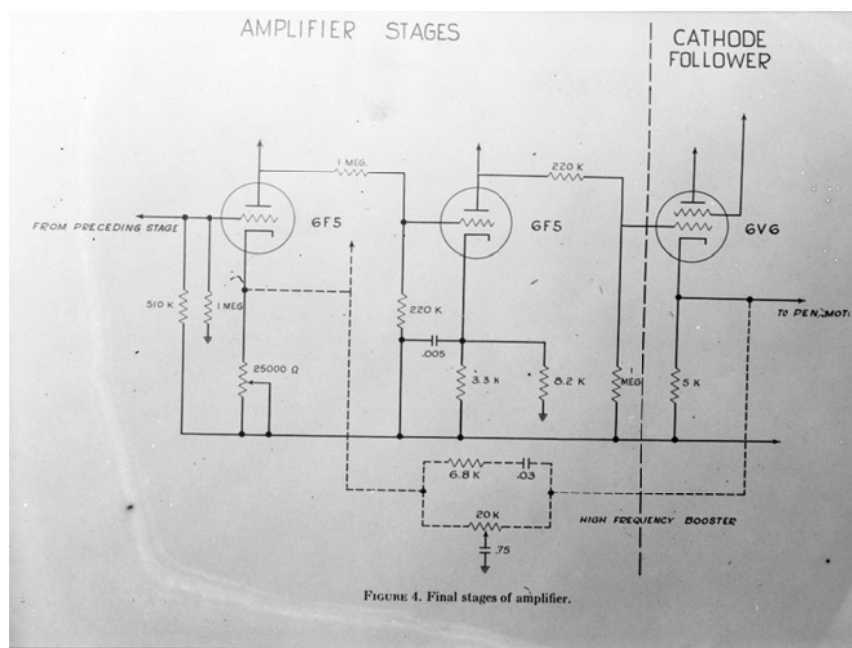


写真 9

これらの写真の大部分は、原版ではほとんどなにが写っているか分からない状態だが、スキャナーの性能が良くなってこの程度には映像として利用できる。

これらアーカイブ室新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp